

道路ストック点検修繕業務(予算額 18,384千円)

土木建設部道路予防保全課
道路施設係(23 - 6234)

(令和3年度3月補正に前倒した予算額 218,115千円)(合計予算額 236,499千円)

財源内訳 一般財源 18,384千円

支出内訳 8款3項2目 道路維持費 / 測量設計委託料 17,017千円、道路ストック修繕工事請負費 1,367千円

道路ストック点検修繕業務の事業概要

岡崎市が管理するトンネル、横断歩道橋、案内標識、車道舗装などの道路施設及び道路附属物について、メンテナンスサイクルを構築し、施設の長寿命化を図る。



令和4年度の主な事業

令和3年度3月補正に前倒しした事業を含む

- 舗装(車道)点検
交通量の多い市道の車道舗装の点検を行います。
(点検対象路線 約127kmのうち約45kmの点検)
- 舗裝修繕
舗装点検により、路面の老朽化が判明した路線について、計画的に修繕を行います。
(市道井田町線ほか2路線 約1.3kmの舗裝修繕)

舗裝修繕(事例)



橋りょう耐震業務 (予算額 153,890千円) 橋りょう長寿命化修繕業務 (予算額 239,602千円)		土木建設部道路予防保全課 橋りょう係(23 - 6642)
財源内訳	国庫支出金 130,786千円、市債 111,000千円、一般財源 151,706千円	
支出内訳	8款3項4目 橋りょう維持費 / 橋りょう耐震業務: 測量設計委託料 58,850千円、設計単価調査委託料 440千円、橋りょう耐震工事請負費 94,600千円、 橋りょう長寿命化修繕業務: 測量設計委託料 26,950千円、橋りょう調査点検委託料 102,300千円、統合型GIS運用保守委託料 726千円、 機器賃借料 495千円、橋りょう修繕工事請負費 108,900千円、機械器具購入費 231千円	

耐震補強

災害時に道路ネットワークが持つ役割

避難

輸送

復旧活動

を確保するため

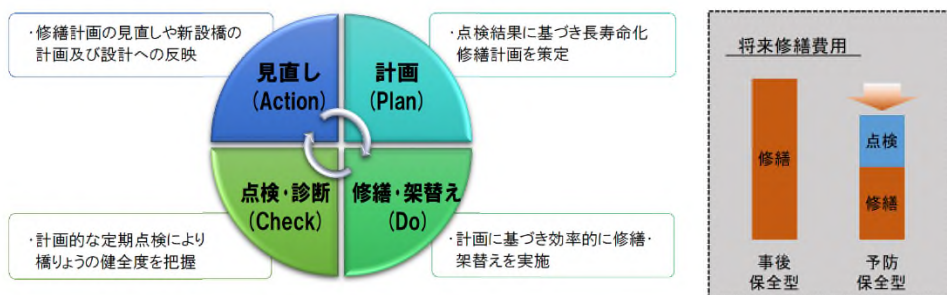
橋脚の耐震補強を進めています



令和3年度～施工中 御所戸橋 (生平町)

長寿命化

老朽化による事故の発生リスクと維持管理費を軽減するため、定期点検と計画的な修繕を実施し、橋りょうの長寿命化を図っています。



令和4年度修繕予定 長沢連橋 (中金町)



代表損傷箇所

橋りょう新設改良事業(予算額 69,539千円)

牧内橋(鹿乗川)整備業務始め3業務合算

土木建設部道路予防保全課
橋りょう係(23 - 6642)

財源内訳	市債 31,000千円、一般財源 38,539千円
支出内訳	8款3項5目 橋りょう新設改良費 / 牧内橋(鹿乗川)整備業務:橋りょう改築工事負担金 23,375千円、 中根橋(砂川)整備業務:橋りょう改築工事負担金 34,064千円、吹野橋(安藤川)整備業務:測量設計委託料 12,100千円

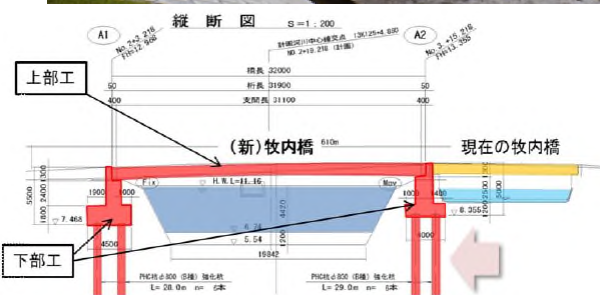
河川改修事業と同調して橋りょうを整備することで、交通の安全と利便性の向上を図ります。

河川改修によって川幅を拡幅する際に架け替える必要が生じた橋りょうについて、同調して拡幅整備や統合整理を実施することで、安全性・利便性の向上とともに、維持管理の効率化を図っています。現在は、大和町・東牧内町地内の「鹿乗川」と若松町地内の「砂川」において事業を進めています。

道路改良事業に伴い、既設橋を架け替えることで、地域交通の安全と円滑化を図ります。

道路改良に必要な橋りょうの架け替えについて、将来の河川改修計画に基づき実施し、地域交通の安全と円滑化を図ります。

牧内橋(鹿乗川)



中根橋(砂川)



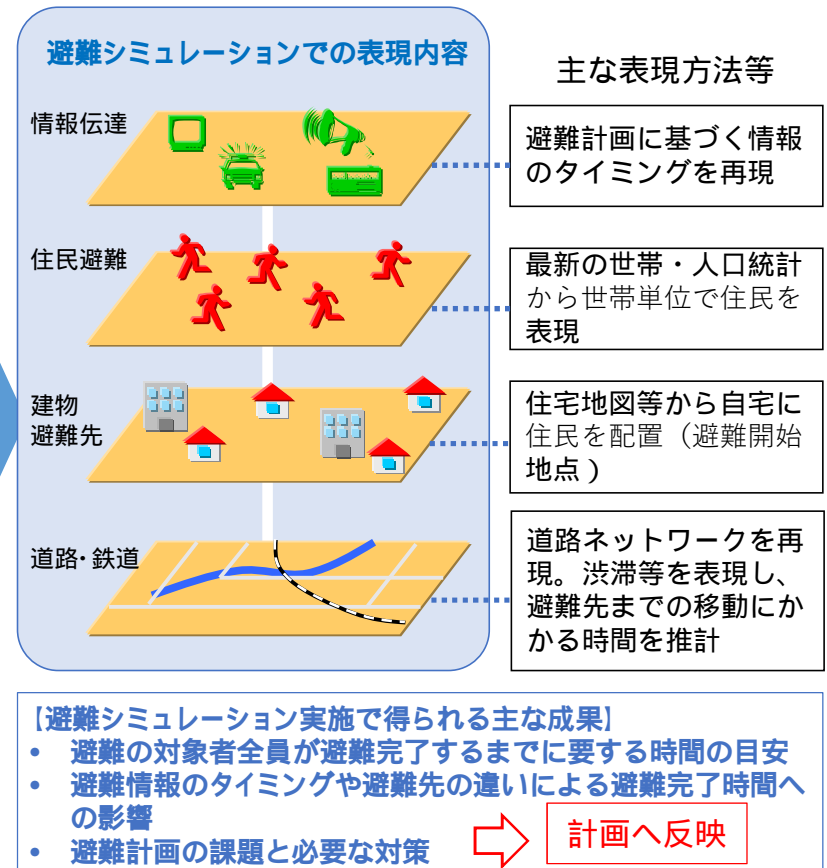
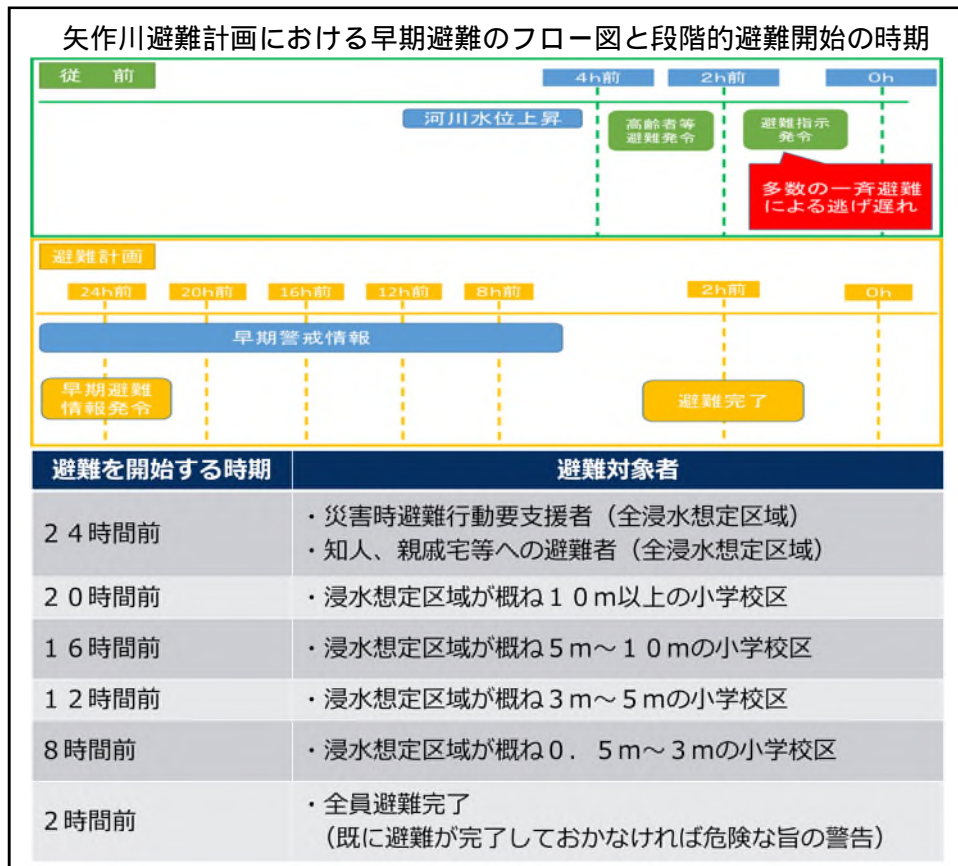
吹野橋(安藤川)



拡充	防災計画策定業務 (予算額 6,992千円)	市民安全部防災課 防災企画係 (23 - 6533)
財源内訳	一般財源 6,992千円	
支出内訳	9款1項4目 災害対策費 / 委員報酬 176千円、事業協力者報償金 69千円、費用弁償 33千円、食糧費 4千円、防災関係計画改訂委託料 6,710千円	

新たな取組

矢作川の氾濫を想定した矢作川避難計画の実現性をさらに高め、地域住民が安全・確実に避難できるよう必要な対策を検討します。



河川・排水路改修事業 (予算額 71,324千円) 河川改修業務及び排水路改修業務合算		土木建設部河川課 技術係 (23 - 6235)
財源内訳	一般財源 71,324千円	
支出内訳	8款4項3目 河川新設改良費 / 河川改修業務:測量設計委託料 21,032千円、排水路改修業務:測量設計委託料 5,764千円、排水路改修工事請負費 30,030千円、水道管移設補償金 14,093千円、ガス管移設補償金 405千円	

台風や集中豪雨による浸水被害を軽減し、地域の排水能力・生活環境の向上を図るため、河川や排水路等の整備を行います。

主な事業箇所

【排水路改修業務】

- ・稲熊排水路測量設計業務
- ・稲熊排水路改修工事

【主な河川改修業務】

- ・乙川・六斗目川関連施設整備
- ・鹿乗川上流支川改修

河川整備イメージ
(例 鹿乗川 JR 交差点部)

鹿乗川流域浸水状況
(矢作地区国道1号)

稲熊地区浸水状況
(市道日名橋線)

乙川・六斗目川付近浸水状況
(美合地区)

総合雨水対策施設整備業務(予算額 17,193千円)

土木建設部河川課
総合雨水対策係(23-6899)

財源内訳	一般財源 17,193千円
支出内訳	8款4項3目 河川新設改良費 / 消耗品費 1,243千円、総合雨水対策施設検討委託料 6,380千円、総合雨水対策施設工事請負費 9,570千円

気候変動により増加する大雨に対し、市民・事業者・行政が一体となった効率的で効果的な浸水対策に取り組むための総合雨水対策事業を推進し、水害に対して安全安心なまちづくりの実現を目指します。

総合雨水対策計画(平成28年7月)

『大雨から“いのち”と“暮らし”を守る』

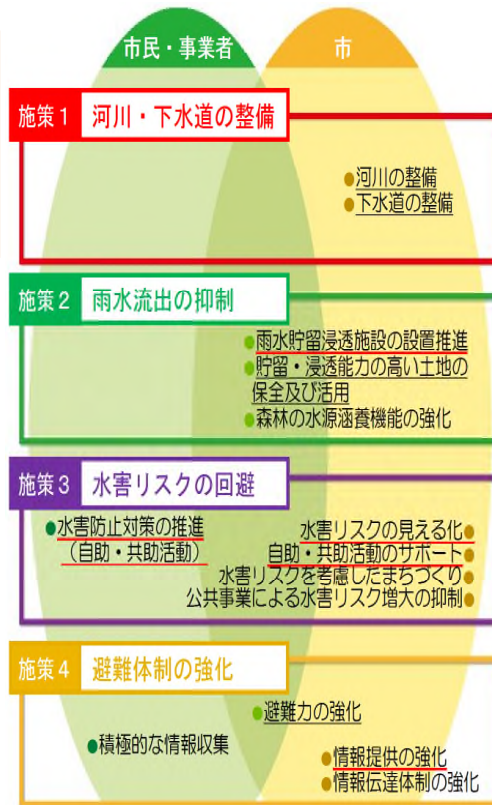
～ みんなで力を合わせ、水害に負けないまちをつくる ～

30年確率降雨から“暮らし”を守る

30年確率降雨(時間最大雨量70mm程度)に対して、床上浸水被害解消

『平成20年8月末豪雨』相当の降雨から“いのち”を守る

『平成20年8月末豪雨(時間最大雨量146.5mm)』相当の降雨に対して、人的被害“ゼロ”



主な取り組み内容

施策2

氾濫をできるだけ防ぐための対策

- ・ 公共施設への浸透マンホールの設置
- ・ 浸水地域の上流域に点在するため池等を雨水貯留施設として利活用するための検討を行う

施策2 施策3

自助・共助活動をサポートするソフト対策として、雨水浸透ます支給、止水板設置補助の継続実施。

国の流域治水プロジェクトにおける「流域治水」の考え方



浸透マンホール
(設置例)

消防指令システム共同整備業務(予算額 370,780千円)

消防本部総務課
経理係(21-9846)

財源内訳 分担金及び負担金 81,569千円、市債 171,000千円、一般財源 118,211千円

支出内訳 9款1項3目 消防施設費 / 消防指令システム改修委託料 370,780千円

消防指令システムとは

【構成】

東庁舎7階の消防指令センター内に設置された各種サーバや消防車両に設置された車両運用端末等から構成されるシステム

【役割】

119番通報の受信 出動場所の特定 出動隊編成 出動指令 車両運用端末へ情報出力する一連の業務を迅速かつ効率的に実施することが可能

365日24時間の安定稼働が必要



業務の概要

平成29年度に幸田町と共同で整備しました消防指令システムの一部を幸田町と協議のうえ共同で改修します。



目的

システムの安定稼働を維持することで、市民からの119番通報を的確、迅速に対応

内容

- 1 119番通報の受信等に直接影響する重要なサーバや端末を更新します。
- 2 出動場所を特定するために使用する地図データや電柱の位置情報を最新のものに更新します。

スケジュール R4年度中に改修完了予定

【水道事業】 水道管路更新・耐震化事業(予算額 3,786,093千円)

上下水道局経営管理課
経営1係(23 - 6353)

財源内訳 企業債 997,532 千円、他会計出資金 399,588 千円、工事負担金 498,799 千円、他会計負担金 46,062 千円、県補助金 53,750 千円、自己財源 1,790,362 千円

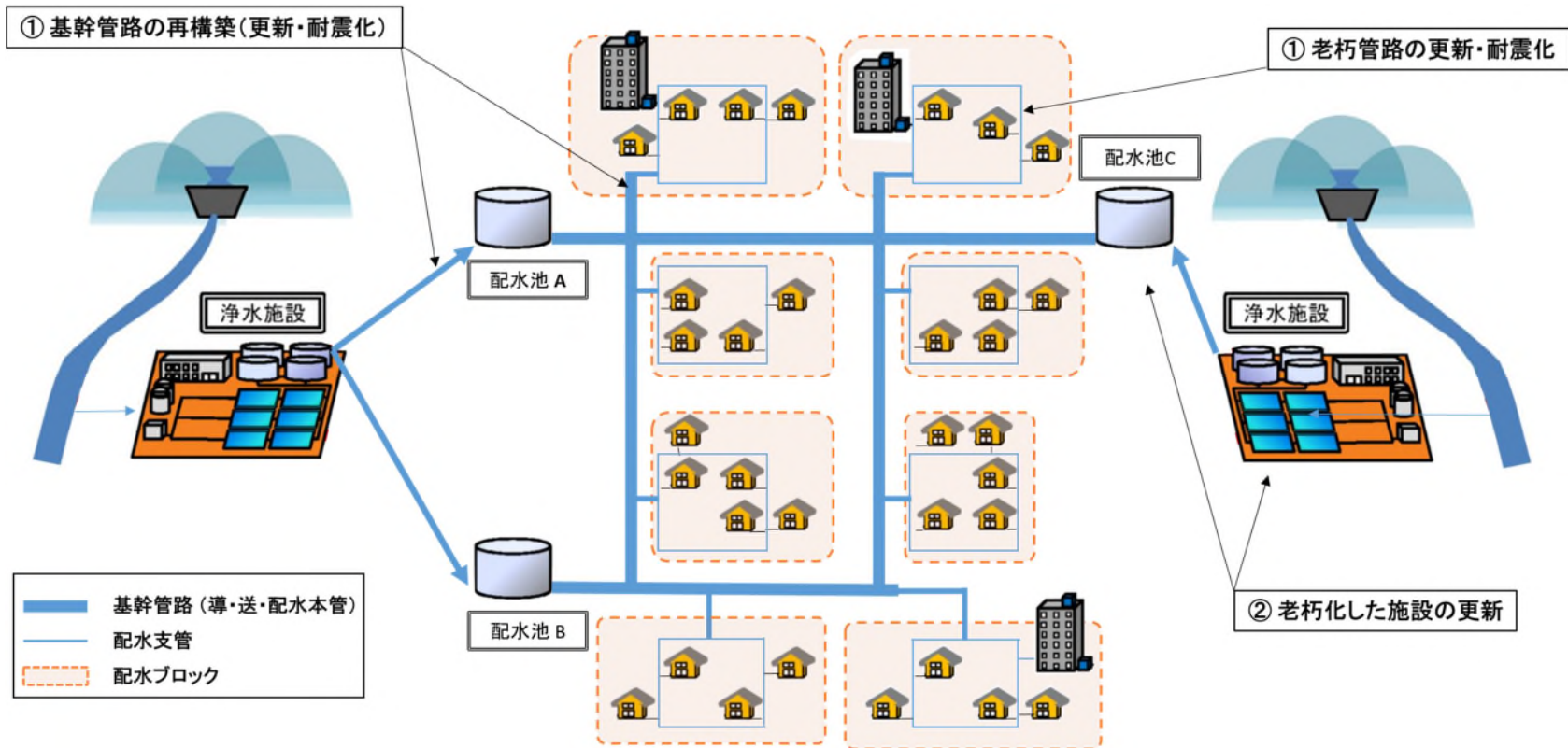
支出内訳 水道事業会計(資本的支出) 1款1項2目 配水施設費 / 委託料 240,900千円、補償金 17,000千円、施設工事費 3,526,793千円、その他 1,400千円

水道施設更新事業(予算額 419,969千円)

財源内訳 企業債105,468千円、自己財源314,501千円

支出内訳 水道事業会計(資本的支出) 1款1項1目 原水及び浄水施設費 / 委託料 41,800千円、負担金 9,540千円、施設工事費 368,079千円、その他 550千円

水道は、市民生活や社会経済活動に不可欠な重要なライフラインとなっています。平時はもちろんのこと、地震、台風等の自然災害や水質事故等の非常事態においても、被害影響の最小化や早期復旧、水供給の継続・補完が可能となるよう、基幹的な水道施設の安全性確保や基幹管路網の再構築及び配水区域のブロック化を進め、上水道全体の強靱化を図っていきます。



老朽化した水道管路の更新及び基幹管路網の再構築により強靱化を図ります。

主な事業内容

管路強靱化事業（更新・耐震・再構築）
業務（152,900 千円）
・管路強靱化測量設計業務（9 箇所）

工事（2,142,620 千円）
・管路強靱化工事（32 箇所）



耐震管とは、地震時に起きる地盤のひずみを継手が伸縮・屈曲する鎖構造管路により吸収し、管本体の損傷を防ぐものです。

老朽化した水道施設及び設備を更新します。

主な事業内容

業務（41,800 千円）
・男川浄水場非常用自家発電設備増設実施設計業務

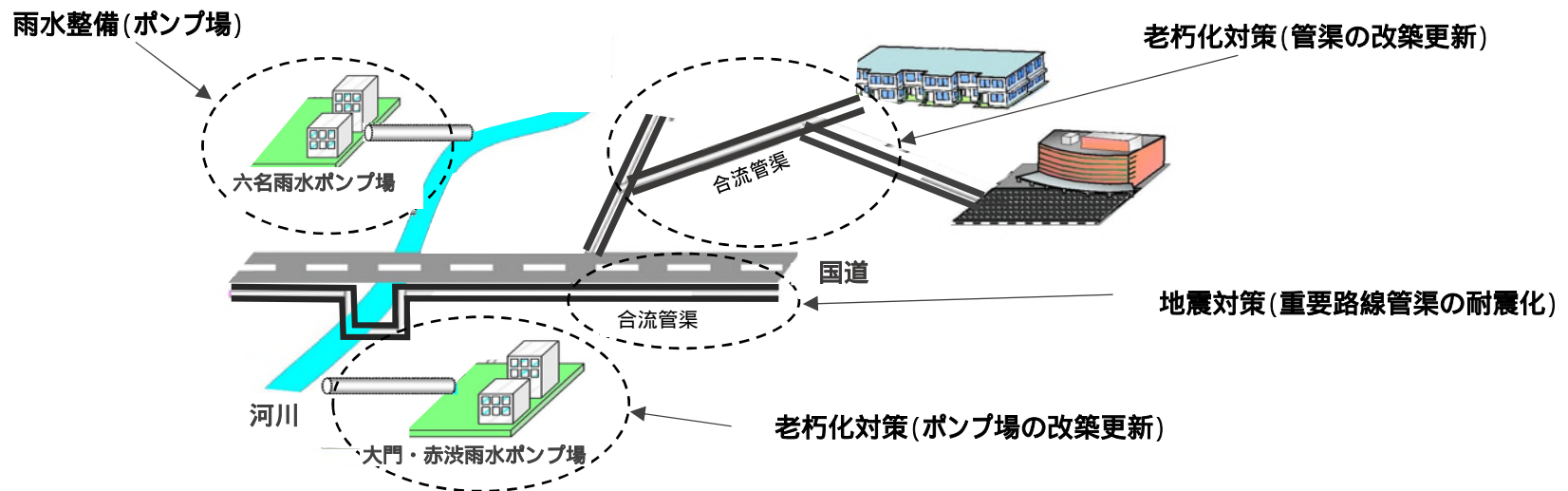
工事（368,079 千円）
・大西配水場場内配水管更新に係る進入路築造工事
・大法川配水場ポンプ設備更新工事
・仁木浄水場薬品貯蔵槽更新工事



仁木浄水場薬品貯蔵槽

【下水道事業】 雨水整備事業 (予算額 876,170千円) (令和3年度3月補正に前倒した予算額 1,308,981千円) (合計予算額 2,185,151千円)		上下水道局経営管理課 経営2係(23 - 6858)
財源内訳	企業債 482,300千円、国県補助金 329,150千円、自己財源 64,720千円	
支出内訳	下水道事業会計(資本的支出) 1款1項1目 管渠施設費 / 委託料 27,000千円、手数料 1,500千円、補償金 64,100千円、負担金 16,000千円、 施設工事費 664,600千円 1款1項2目 ポンプ場施設費 / 委託料 100,000千円、施設工事費 2,970千円	
地震対策及び老朽化対策事業 (予算額 1,255,105千円) (令和3年度3月補正に前倒した予算額 1,664,648千円) (合計予算額 2,919,753千円)		
財源内訳	企業債 1,015,300千円、国県補助金 155,571千円、自己財源 84,234千円	
支出内訳	下水道事業会計(資本的支出) 1款1項1目 管渠施設費 / 委託料 131,883千円、補償金 30,000千円、施設工事費 832,253千円 1款1項2目 ポンプ場施設費 / 委託料 184,100千円、施設工事費 76,869千円	

- 下水道は公衆衛生の向上、浸水の防除、公共用水域の水質向上を図るなど、市民生活に不可欠なライフラインです。そのため、暮らしを守る下水道として、集中豪雨等による浸水被害の軽減や地震対策及び老朽化対策による機能確保を図ってまいります。



浸水被害の軽減を目指し下水道の整備を進めます。(876,170千円)

雨水整備事業(管渠)(773,200千円)

八帖北幹線築造工事(468,300千円)【R3~R6年度】

3,250 mm L = 1,000m

大平北幹線築造工事(55,000千円)

ボックスカルバート 1,200~2,000 mm L = 100m

雨水整備事業(ポンプ場)(102,970千円)

六名雨水ポンプ場築造工事 外構(100,000千円)【H29~R4年度】

排水能力 $Q=8.0 \text{ m}^3/\text{s}$

下水道の地震対策及び老朽化対策を進めます。(1,255,105千円)

下水道総合地震対策計画に基づき、管渠の地震対策事業を実施します。

地震対策事業(管渠)(20,000千円)

重要な幹線等における管渠の耐震化工事(5,000千円)

L = 860m

下水道ストックマネジメント計画に基づき、管渠及びポンプ場の老朽化対策(改築更新)事業を実施します。

改築更新事業(管渠)(974,136千円)

管渠更生工による老朽管渠の改築工事(719,280千円)

L = 5,800m

改築更新事業(ポンプ場)(260,969千円)

大門雨水ポンプ場改築工事(110,000千円)【R2~R4年度】

赤渋雨水ポンプ場改築工事(35,470千円)【R4~R5年度】

R3 補正予算対応(1,308,981千円)

- ・大平北幹線築造工事
- ・六名雨水ポンプ場築造工事 ほか



六名雨水ポンプ場 完成イメージ

R3 補正予算対応(1,664,648千円)

- ・管渠改築工事
- ・大門雨水ポンプ場改築工事 ほか



大門雨水ポンプ場 ポンプ用エンジン